

科目	環境水工学II (Environmental Hydraulic Engineering II)		
担当教員	柿木 哲哉 准教授		
対象学年等	都市工学科・4年・前期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	D1(100%)	JABEE基準1(1)	(b)
授業の概要と方針	本講義は海岸で生じる海の波や流れなどの自然現象の発生機構ならびにその制御法について学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【D1】波の性質や特性について説明できる。		波の性質や特性について説明できるか小テストと中間試験で評価する。
2	【D1】海水の基礎的な運動について説明できる。		海水の基礎的な運動について説明できるか小テストと中間試験で評価する。
3	【D1】波の諸元と代表指標、波の分類について説明できる。		波の諸元と代表指標、波の分類について説明できるか小テストと定期試験で評価する。
4	【D1】微小振幅波と規則波の基礎について説明できる。		微小振幅波と規則波の基礎について説明できるか小テストと定期試験で評価する。
5	【D1】海岸地形と漂砂について説明できる。		海岸地形と漂砂について説明できるか小テストと定期試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験70% レポート30% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均とする。合格点は100点満点で60点以上とする。		
テキスト	「海岸工学」：平山ら（コロナ社）		
参考書	「海岸工学」：服部昌太郎（コロナ社）		
関連科目	水理学，応用数学		
履修上の注意事項	第4学年にふさわしい態度で授業に臨むこと。		

